

【特許請求の範囲】

【請求項1】 メイクアップ化粧料の販売促進に用いられる販売促進用キットであって、薄板状ケース内に、少なくとも、眉の輪郭を描くための眉形切欠穴が複数種類形成された眉形定規と、唇の輪郭を描くための唇形切欠穴が複数種類形成された唇形定規と、眉を模した複数種類の眉シールが一枚のシール台に貼着された眉ステッカーと、口紅が塗布された唇を模した複数種類の唇シールが一枚のシール台に貼着された唇ステッカーとが収納されていることを特徴とする販売促進用キット。

【請求項2】 上記薄板状ケース内に、眉形定規、唇形定規、眉ステッカー、唇ステッカーとともに、周囲にアイシャドウが塗布された目を模した複数種類のアイシャドウシールが一枚のシール台に貼着されたアイシャドウステッカーが収納されている請求項1記載の販売促進用キット。

【請求項3】 上記薄板状ケース内に、眉形定規、唇形定規、眉ステッカー、唇ステッカーとともに、爪の表面を飾るための図柄が表示された複数種類のネイルシールが一枚のシール台に貼着されたネイルステッカーが収納されている請求項1または2記載の販売促進用キット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、メイクアップ化粧料の販売促進に用いられる販売促進用キットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来から、化粧品メーカーでは、春先に、その春社会人となる新卒予定者（フレッシュヤーズ）を対象とする、フレッシュヤーズキャンペーンを展開することが恒例となっている。このキャンペーンでは、これから化粧を始めようとする層を固定客として取り込むことが目的であり、きめ細やかなカウンセリングとインパクトの強いアピールが必要とされる。そのため、フレッシュヤーズ用のサンプルセットやパンフレットを多数用意し、店頭や学校で配布したり、ダイレクトメールを送付することが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、多数の化粧品メーカーが、同じような宣伝広告手法を用いて競うため、フレッシュヤーズに対し、特定のメーカーを印象付けることは容易ではなく、キャンペーンの最前線に立つ化粧品販売員やカウンセラーの負担は多大なものであった。このため、従来にはない、全く新しい宣伝広告手法が強く望まれている。

【0004】本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、サンプルセットやパンフレットとは全く異なり、化粧をすること自体の楽しさをアピールすることができ、ひいてはメイクアップ化粧料の販売促進につながる特殊な販売促進用キットの提供をその目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明の請求項1記載の販売促進用キットは、メイクアップ化粧料の販売促進に用いられる販売促進用キットであって、薄板状ケース内に、少なくとも、眉の輪郭を描くための眉形切欠穴が複数種類形成された眉形定規と、唇の輪郭を描くための唇形切欠穴が複数種類形成された唇形定規と、眉を模した複数種類の眉シールが一枚のシール台に貼着された眉ステッカーと、口紅が塗布された唇を模した複数種類の唇シールが一枚のシール台に貼着された唇ステッカーとが収納されているという構成をとる。

【0006】また、本発明の請求項2記載の販売促進用キットは、上記請求項1記載の販売促進用キットのなかでも、特に、上記薄板状ケース内に、眉形定規、唇形定規、眉ステッカー、唇ステッカーとともに、周囲にアイシャドウが塗布された目を模した複数種類のアイシャドウシールが一枚のシール台に貼着されたアイシャドウステッカーが収納されているという構成をとる。

【0007】さらに、本発明の請求項3記載の販売促進用キットは、上記請求項1または2記載の販売促進用キットのなかでも、特に、上記薄板状ケース内に、眉形定規、唇形定規、眉ステッカー、唇ステッカーとともに、爪の表面を飾るための図柄が表示された複数種類のネイルシールが一枚のシール台に貼着されたネイルステッカーが収納されているという構成をとる。

【0008】

【発明の実施の形態】つぎに、本発明の実施の形態について説明する。

【0009】図1は、本発明の販売促進用キットの一実施の形態を示している。すなわち、この販売促進用キットは、全体が、いわゆるCD（コンパクトディスク）ケース1内に収納されており、あたかもCDのような外観に設定されている。そして、ケース表面1aに、透明な蓋体2の内側に収納された表紙3が透けて見えるようになっている。

【0010】上記表紙3は、図2に示すように、左上に、略正方形の枠4が設けられており、その中に、「WAKU WAKU MAKE-UP KIT」の見出し5がデザイン的に表示されている。また、その右側には、3行の縦書きで、「お化粧のたのしいおけいこ」の文6が表示されており、フレッシュヤーズの興味をそそるようになっている。なお、中央には、唇のイラスト7が表示され、右下には、「for Fresher's from KanKan」の文字が記入された丸枠8が表示されている。上記「KanKan」はメーカー名である。

【0011】上記CDケース1内には、図3に示すように、販売促進用キットが収納されている。すなわち、蓋体2内側の、通常CDに関する説明冊子が収納される部

分に、上記表紙3とともに、5枚のステッカー9～13が重ねて収納されている。また、ケース本体14内の、通常CDが収納される円形凹部15に、3枚のディスク定規16～18が重ねて収納されている。

【0012】上記ステッカー9～13のうち、1枚目のステッカー9は、図4に示すように、その左上の楕円枠19内に、「眉ステッカー」の見出し20が表示されており、その下に、形状の異なる眉を模した眉シール21が、左右一対で上下に6種類並んでいる。これらは、シール台9aから一枚一枚剥がすことができ、後述する特殊な台紙40（図6参照）に貼ることにより、メイクアップのシミュレーションを行うことができるようになっている。なお、各眉シール21の左上には、「トレンドイストレート」とか「トレンドイスクエア」といった形状の呼び名22が付されている。

【0013】2枚目のステッカー10は、その左上の楕円枠23内に、「アイシャドウステッカー」の見出し24が表示されており、その下に、アイシャドウによって異なるメイクアップを周囲に施した目を模したアイシャドウシール25が、左右一対で上下に2種類並んでいる。これらも、シール台10aからそれぞれ剥がすことができ、上記眉シール21と同様、メイクアップのシミュレーションに利用することができる。なお、上下のアイシャドウシール25には、それぞれメイクアップに用いたアイシャドウの商品名および品番26が付記されている。

【0014】また、3枚目、4枚目のステッカー11、12は、図5に示すように、それぞれの左上に、「唇ステッカーA」の見出し28、「唇ステッカーB」の見出し29が表示されており、その下に、口紅によって異なるメイクアップを施した唇を模した口紅シール30が、各ステッカー11、12に6種類ずつ並んでいる。これらも、シール台11a、12aからそれぞれ剥がすことができ、上記眉シール21、アイシャドウシール25と同様、メイクアップのシミュレーションに利用することができる。なお、各唇シール30には、それぞれメイクアップに用いた口紅の商品名および品番31が付記されている。

【0015】これらの眉シール21、アイシャドウシール25、唇シール30は、図6に示すような特殊な台紙40を利用して、メイクアップのシミュレーションに利用することができる。すなわち、上記台紙40は、その表面が平滑で繰り返しシール21等を貼ったり剥がしたりできるようになっており、女性の顔の輪郭と目と鼻と耳が印刷されている。そこで、この台紙40に、福笑いの要領で、好みの眉シール21、アイシャドウシール25、唇シール30を各ステッカー9～12から選んで貼り、全体の印象やバランスを判断することができる。

【0016】なお、上記台紙40は、折り畳んで、このCDケース1内にステッカー9～13とともに収納する

ようにしてもよいが、単独のシートとして店頭に備えるか、あるいは、フレッシュャーズ用として準備されるテキスト（販売員が、来店したフレッシュャーズに対しメイクアップ等について指導する際に用いるテキスト）の裏面を台紙40として用意することが好適である。すなわち、台紙40を店頭に備えておけば、この販売促進用キットを受け取ったフレッシュャーズが、それを持って来店するきっかけになるからである。しかも、販売員の前でフレッシュャーズ自身に眉シール21等を貼らせるようにすると、フレッシュャーズの好みを把握することができ、カウンセリングの参考にすることができるという利点がある。

【0017】CDケース1内の5枚目のステッカー13は、図7に示すように、その左上の楕円枠41内に、「ネイルステッカー」の見出し42が表示されており、その下に、爪の表面を飾るための様々な図柄が表示されたネイルシール43が多数並んでいる。右下のアルファベットもネイルシール43である。また、左下の、8枚の円弧状シール44は、爪の一部に色を塗ってフレンチネイルをつくる際にマスキングテープとして利用されるものである。これらは、シール台13aからそれぞれ剥がすことができ、好みに応じて爪に用いられる。

【0018】一方、CDケース1の円形凹部15に収納される3枚のディスク定規16～18（図3参照）は、いずれもプラスチック板（厚み0.2mm）で形成されており、これらのうち、2枚のディスク定規16、17は、図8に示すように、眉の輪郭を描くための眉形定規で、ディスク定規16が黄色の蛍光色に着色され、ディスク定規17が山吹色の蛍光色に着色されている。そして、1枚につき3種類の、形状の異なる眉形切欠穴50が、周方向に等間隔で形成されている。各眉形切欠穴50の近傍には、その眉形状の呼び名51が付されている。また、各眉形切欠穴50を中心側から円周方向に横切る直線52が設けられているが、この直線52は、その眉形切欠穴50を眉に当てる際に垂直方向の目安となるものである。さらに、ディスク定規16の右下には、丸枠53内に、「眉ディスク定規A」の見出し54が表示され、ディスク定規17の右下には、丸枠55内に、「眉ディスク定規B」の見出し56が表示されている。なお、57は、CDケース1の円形凹部15中央に設けられる係合用突起15a（図3参照）と嵌合する中心穴である。

【0019】また、ディスク定規18は、図9に示すように、唇の輪郭を描くための唇形定規で、ピンク色の蛍光色に着色されており、4種類の、形状の異なる唇形切欠穴60が、周方向に等間隔で形成されている。各唇形切欠穴60の近傍には、その唇形状の呼び名61が付されている。そして、このディスク定規18にも、各唇形切欠穴60を唇に当てる際に垂直方向の目安となる直線62と、係合用の中心穴57が設けられている。さら

に、ディスク定規18の右下には、丸枠63内に、「唇ディスク定規」の見出し64が表示されている。

【0020】この販売促進用キットによれば、メイクアップの際、上記ディスク定規16～18を用いて簡単に眉や唇の輪郭を、好みの形状に描くことができるため、メイクアップを楽しむことができる。また、前記ステッカー9～12の眉シール21等を台紙40に貼ることにより、メイクアップのシミュレーションを行うことができ、自分の好みのメイクアップの全体の印象やバランスを、客観的に評価することができる。さらに、前記ステッカー13のネイルシール43等を利用して、爪にネイルアートを施すことができ、気軽に爪のおしゃれを楽しむことができる。

【0021】したがって、上記販売促進用キットを、店頭や学校でフレッシューズに配布すれば、従来の単なるサンプルセットやパンフレットとは異なり、非常に強いインパクトを与えることができる。そして、フレッシューズのメイクアップに対する興味を引き出し、来店のきっかけをつくるとともに、化粧品購入意欲を増進させることができる。

【0022】なお、本発明の販売促進用キットにおいて、ディスク定規16～18およびステッカー9～13の形状は、上記実施例に限定するものではなく、どちらが円形でどちらが四角形であっても、また両方が円形であっても両方が四角形であっても差し支えない。すなわち、これらの形状は、これを収納するケース形状に左右されるのであり、ケース形状も、上記のようなCDケース1に限らず、適宜の形状のものが選択される。例えば、図10(a)に示すように、1枚の厚紙から成形した簡単なパッケージ70を用いることができる。なお、71は係止用の面状ファスナーである。また、図10(b)に示すような、ボックスタイプのパッケージ72を用いることもできる。ただし、場所をとらないよう全体を薄板状に形成することが必要である。

【0023】そして、ディスク定規16～18やステッカー9～13の形状に伴って、これらに形成される切欠穴50、60や眉シール21等の並び方も適宜に設定される。そして、これらの枚数や種類も、特に限定されることはなく適宜に設定される。ただし、眉形定規、唇形定規、眉ステッカー、唇ステッカーは最低限、備えられるものとし、アイシャドウシール25のステッカー10およびネイルシール43のステッカー13は任意である。また、台紙40も、必ずしも必要なものではなく、この販売促進用キットを受け取ったフレッシューズが各人で適当に紙に顔を描いてメイクアップのシミュレーションを楽しむようにしてもよい。

【0024】つぎに、実施例について説明する。

【0025】

【実施例】図3に示す販売促進用キットを、専門のモニター10人に手渡し、実際にディスク定規16～18を用いてメイクアップさせるとともに、各ステッカー9～12および台紙40を利用して、メイクアップのシミュレーションを行わせた。また、ネイルステッカー13のネイルシール43を利用してネイルアートを行わせた。その結果、モニター10人とも、「メイクアップおよびネイルアートを楽しむことができ、またシミュレーションによって好ましいメイクアップを絞ることができ有意義であった。」と評価した。

【0026】

【発明の効果】以上のように、本発明の販売促進用キットは、眉や唇の輪郭を、好みの形状に簡単に描くことのできる定規を備えているため、メイクアップを楽しむことができる。また、複数種類の眉シールや唇シールを備えたステッカーを備えているため、これらを適宜選択して台紙に貼ることにより、メイクアップのシミュレーションを行うことができ、自分の好みのメイクアップの全体の印象やバランスを、客観的に評価することができる。したがって、本発明の販売促進用キットを、店頭や学校でフレッシューズに配布すれば、従来の単なるサンプルセットやパンフレットとは異なり、非常に強いインパクトを与えることができる。そして、フレッシューズのメイクアップに対する興味を引き出し、来店のきっかけをつくるとともに、化粧品購入意欲を増進させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の外観斜視図である。

【図2】上記実施例に用いる表紙の説明図である。

【図3】上記実施例の構成を示す分解斜視図である。

【図4】上記実施例に用いる眉ステッカーおよびアイシャドウステッカーの説明図である。

【図5】上記実施例に用いる唇ステッカーの説明図である。

【図6】上記実施例に用いる台紙の説明図である。

【図7】上記実施例に用いるネイルステッカーの説明図である。

【図8】上記実施例に用いる眉形ディスク定規の説明図である。

【図9】上記実施例に用いる唇形ディスク定規の説明図である。

【図10】(a)は本発明の他の実施例に用いるケースの説明図、(b)は本発明のさらに他の実施例に用いるケースの説明図である。

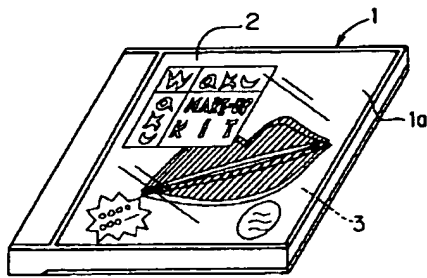
【符号の説明】

1 CDケース

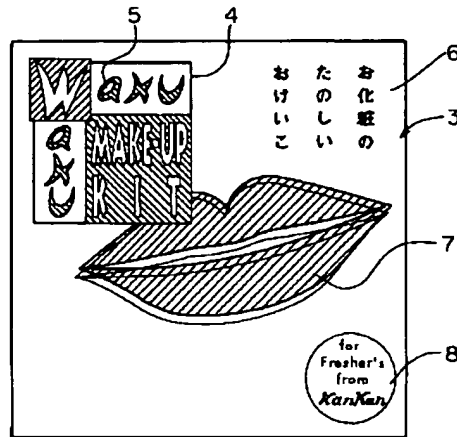
9～13 ステッカー

16～18 ディスク定規

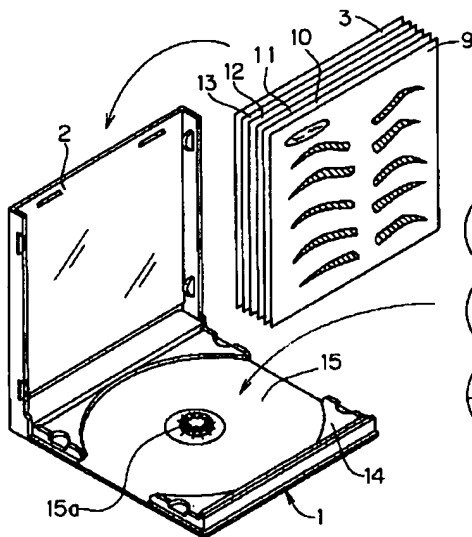
【図1】



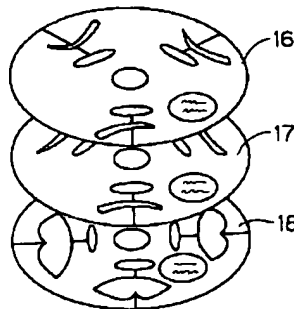
【図2】



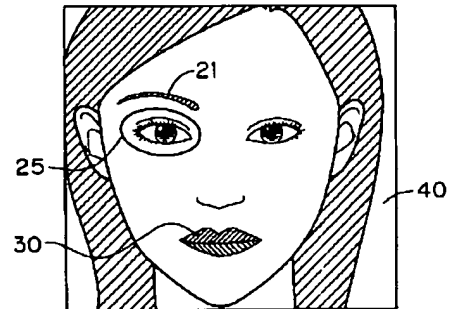
【図3】



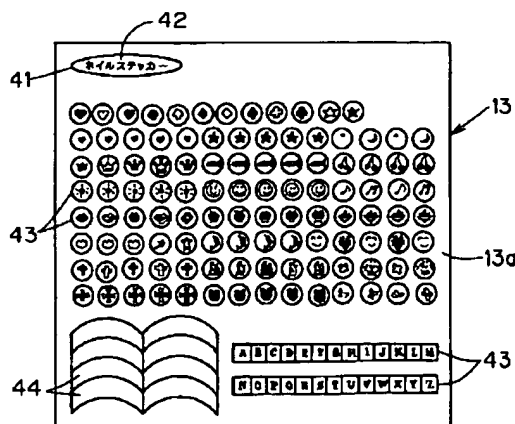
1:CDケース
9~13:ステッカー
16~18:ディスク定規



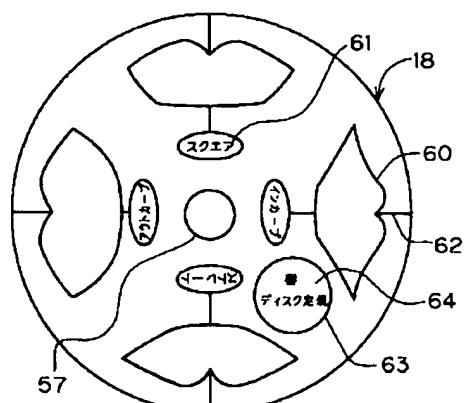
【図6】



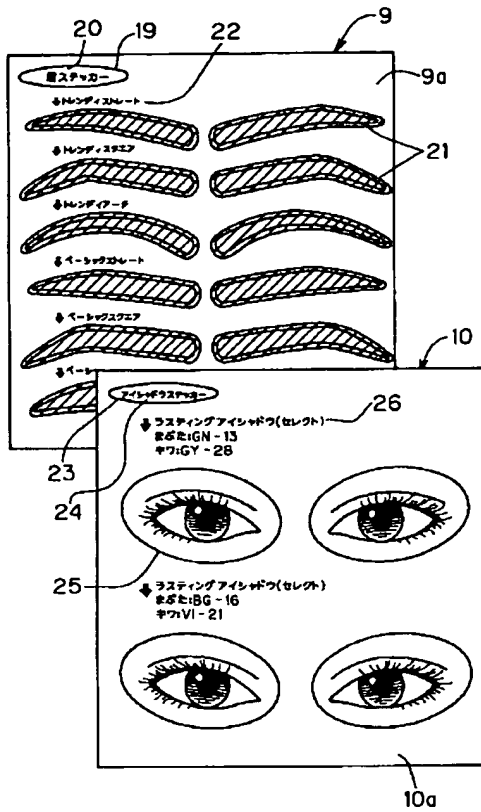
【図7】



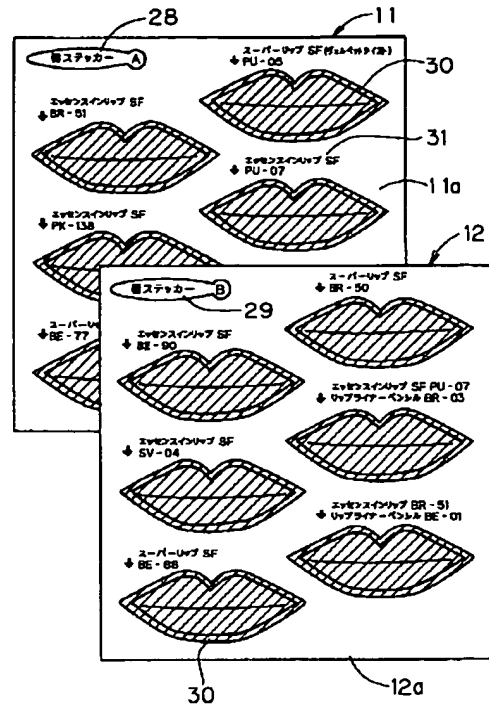
【図9】



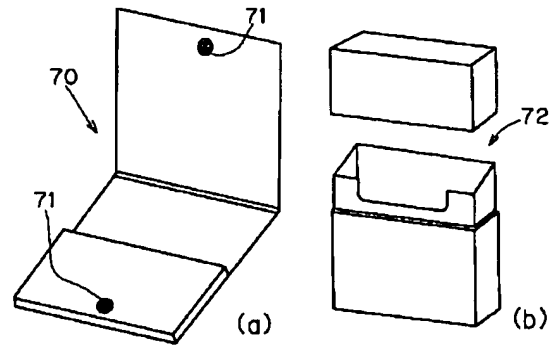
【図4】



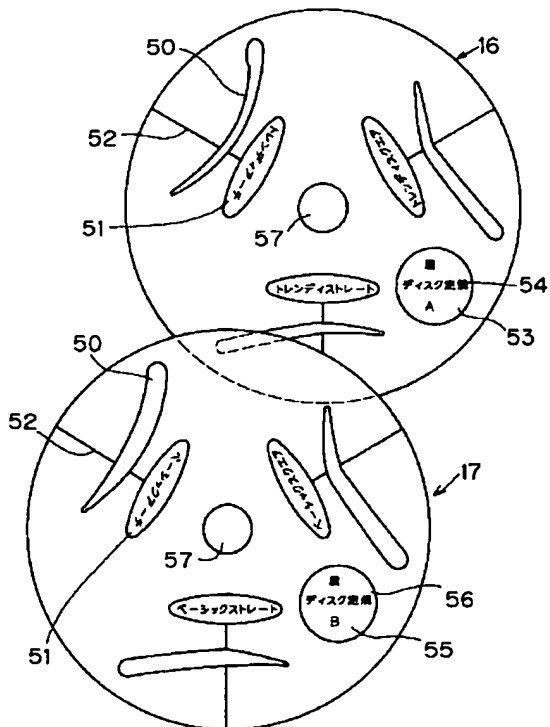
【図5】



【図10】



【図8】



PAT-NO: JP410198279A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10198279 A
TITLE: SALES PROMOTING KIT
PUBN-DATE: July 31, 1998

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
KAWAKAMI, AKIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KANEBO LTD N/A

APPL-NO: JP09004912
APPL-DATE: January 14, 1997

INT-CL (IPC): G09F005/04, A63F009/10 , G09F001/02 , G09F023/14

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To appeal the pleasure of a make-up and to link to sales promotion of makeup material by providing a rule capable of simply painting layouts of an eyebrow and a lip to a required shape and a sticker provided with plural kinds of eyebrow seals and lip seals.

SOLUTION: Eyebrow type rules 16, 17 formed with plural kinds of eyebrow type notched holes for painting the layout of the eyebrow, lip type rule 18 formed with plural kinds of lip type notched holes for painting the layout of the lip, an eyebrow sticker 9 sticking plural kinds of eyebrow seals imitating the eyebrow on a sheet of seal base and lip stickers 11, 12, etc., sticking plural kinds of lip seals imitating the lip applied with the lipstick on a sheet of

seal base are housed in a CD case 1. Thus, at the time of makeup, by using disk rules 16-18, the layouts of the eyebrow and lip are painted to a required shape easily. Further, the simulation of the makeup becomes possible by sticking the eyebrow seal, etc., of the stickers 9-13 on a pasteboard, etc.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO